

「平塚市行財政改革計画（2024-2027）」の一部改訂について

1 概要

(1) 庁内照会

内容：令和8年度の新規追加取組や既存取組の内容変更について照会

期間：令和7年10月1日（水）～令和7年11月7日（金）

(2) 回答状況

【新規追加】なし

【内容変更】6課7取組

課名	取組コード・取組名	変更内容	修正
会計課	08-03-02 公金収納のデジタル化	文言修正	
デジタル推進課	08-05-01 情報システムの標準化の推進	活動期間、指標修正	
産業振興課	08-11-01 寄附金の活用推進	活動、指標修正	
中央公民館	08-14-02 中央公民館のあり方の検討	活動期間修正	
職員課	08-18-01 人材育成の推進	文言修正	
職員課	08-21-01 ワーク・ライフ・バランスの推進	指標設定	
災害対策課	08-22-04 災害対策本部組織体制の見直し	文言修正	

(3) その他（照会期間以外での調整等）

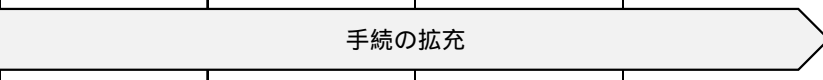
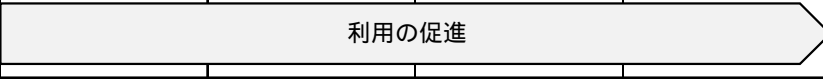
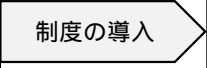
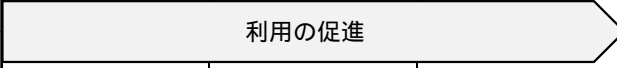
課名	取組コード・取組名	変更内容	修正
デジタル推進課	08-01-01 手続きのオンライン化・利用の促進	指標修正	
企画政策課	08-07-01 民間活力の活用推進	指標修正	

2 「実施計画事業」の内容変更

(1) 手続きのオンライン化・利用の促進(「窓口サービスのDX推進」事業)

ア 「到達目標」の「指標の目標」として、「令和9年度の利用件数：20,000件」としていたが、令和6年度の実績を踏まえ「45,000件」に変更する。

〔変更案〕

【事業名：窓口サービスのDX 推進】		財政健全化	-
取組名	(1) 手続きのオンライン化、利用の促進	取組コード	08-01-01
目的	行政手続きのオンライン化により、市民の利便性向上や業務の効率化を図る。		
概要	行政手続きのオンライン化に取り組むことで、「行かない窓口」の実現と受付処理など業務の効率化を推進します。		
活動	オンライン申請手続きの拡充		
推進担当課	デジタル推進課、関係課		
活動概要	オンライン化が可能な手続等の導入を推進する。		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度 令和9年度
各年度の活動			
活動	オンライン申請の利用の促進		
推進担当課	デジタル推進課、関係課		
活動概要	オンライン申請等の利用の促進に向けて、広報やデジタルサイネージへの掲載など周知に取り組む。		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度 令和9年度
各年度の活動			
到達目標	オンライン申請ができる手続を拡充し、利用が促進されている。		
指標	オンライン申請の利用件数 (図書館システム資料予約、公共施設予約システム、eLTax 等を除く)		
指標の目標	令和9年度の利用件数：45,000件	基準値(R4)	16,147件
活動	電子契約の導入		
推進担当課	契約検査課、関係課		
活動概要	電子契約を導入し、利用の促進に取り組む。		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度 令和9年度
各年度の活動			
到達目標	電子契約を導入し、利用が促進されている。		
指標	電子契約の契約件数(契約検査課発注案件)		
指標の目標	令和9年度の電子契約件数：140件	基準値(令和2-4年度の契約件数の平均)	280件

〔変更前〕 「平塚市行財政改革計画（2024～2027）」15ページ

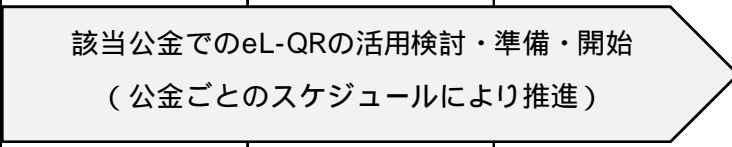
【事業名：窓口サービスのDX 推進】		財政健全化	-
取組名	(1) 手続のオンライン化、利用の促進	取組コード	08-01-01
目的	行政手続のオンライン化により、市民の利便性向上や業務の効率化を図る。		
概要	行政手続のオンライン化に取り組むことで、「行かない窓口」の実現と受付処理など業務の効率化を推進します。		
活動	オンライン申請手続の拡充		
推進担当課	デジタル推進課、関係課		
活動概要	オンライン化が可能な手続等の導入を推進する。		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の活動	手続の拡充		
活動	オンライン申請の利用の促進		
推進担当課	デジタル推進課、関係課		
活動概要	オンライン申請等の利用の促進に向けて、広報やデジタルサイネージへの掲載など周知に取り組む。		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の活動	利用の促進		
到達目標	オンライン申請ができる手続を拡充し、利用が促進されている。		
指標	オンライン申請の利用件数 (図書館システム資料予約、公共施設予約システム、eLTax 等を除く)		
指標の目標	令和9年度の利用件数：20,000件	基準値(R4)	16,147件
活動	電子契約の導入		
推進担当課	契約検査課、関係課		
活動概要	電子契約を導入し、利用の促進に取り組む。		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の活動	制度の導入	利用の促進	
到達目標	電子契約を導入し、利用が促進されている。		
指標	電子契約の契約件数(契約検査課発注案件)		
指標の目標	令和9年度の電子契約件数：140件	基準値(令和2～4年度の契約件数の平均)	280件

(2) 公金収納のデジタル化(「デジタル化の推進」事業)

- ア 「目的」欄の「QRコード」について、株式会社デンソーウェーブの商標権を侵害しないよう、登録商標である旨を記載する。
- イ 「概要」欄の「既に eL-QR を活用している地方税以外の公金」について、現状の記載だと既に eL-QR を活用しているものが地方税と公金のどちらかわかりづらいため、表現を修正する。
- ウ 「活動概要」欄の「 の公金を管理するシステムのうち、 以外の公金の管理も行っている場合は、その公金についても eL-QR の活用を検討する」について、検討の対象とする公金の範囲を拡大するため、「 以外の公金についても eL-QR の活用を検討する」に変更する。

〔変更案〕

【事業名：デジタル化の推進】

		財政健全化	-
取組名	(2) 公金収納のデジタル化	取組コード	08-03-02
目的	公金収納でのeL-QR（地方税統一QRコード）の活用により、納付者の利便性向上や事務の効率化を図る。 (「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。)		
概要	地方税以外の公金においても、既に地方税で活用されているeL-QRについて、国からの要請や費用対効果等の検証を踏まえ、必要に応じて活用を進める。		
活動	国から重点的に要請がされている公金でのeL-QRの活用		
推進担当課	会計課、関係課		
活動概要	国から重点的にeL-QRの活用を要請されている、いずれの地方公共団体においても相当量の取扱いがある公金（介護保険料・後期高齢者医療保険料）及び その性質上、当該地方公共団体の区域外にも納付者が広く所在する公金（行政財産使用料・公園使用料・道路占用料・水路占用料）について、eL-QRの活用を進めていく。 また、 以外の公金についてもeL-QRの活用を検討する。		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度 令和9年度
各年度の活動			
到達目標	国から重点的に要請されている公金収納にeL-QRを活用し、納付者の利便性向上や事務の効率化が図られている。		
指標	-		
指標の目標	-	基準値	-

〔変更前〕 「平塚市行財政改革計画（2024～2027）」24ページ

【事業名：デジタル化の推進】		財政健全化	-
取組名	(2) 公金収納のデジタル化	取組コード	08-03-02
目的	公金収納でのeL-QR（地方税統一QRコード）の活用により、納付者の利便性向上や事務の効率化を図る。		
概要	既にeL-QRを活用している地方税以外の公金についても、国からの要請や費用対効果等に関する検証も踏まえ、必要に応じeL-QRの活用を進める。		
活動	国から重点的に要請がされている公金でのeL-QRの活用		
推進担当課	会計課、関係課		
活動概要	国から重点的にeL-QRの活用を要請されている、いずれの地方公共団体においても相当量の取扱いがある公金（介護保険料・後期高齢者医療保険料）及びその性質上、当該地方公共団体の区域外にも納付者が広く所在する公金（行政財産使用料・公園使用料・道路占用料・水路占用料）について、eL-QRの活用を進めていく。 また、の公金を管理するシステムのうち、以外の公金の管理も行っている場合は、その公金についてもeL-QRの活用を検討する。		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度 令和9年度
各年度の活動	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 該当公金でのeL-QRの活用検討・準備・開始 （公金ごとのスケジュールにより推進） </div>		
到達目標	国から重点的に要請されている公金収納にeL-QRを活用し、納付者の利便性向上や事務の効率化が図られている。		
指標	-		
指標の目標	-	基準値	-

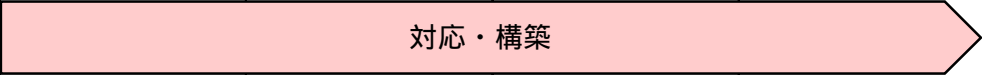
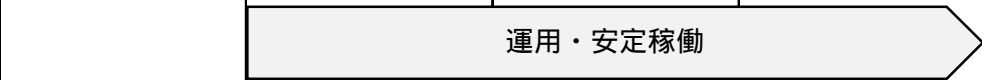
(3) 情報システムの標準化の推進(「情報システムの標準化」事業)

ア 「各年度の活動」の「対応・構築」のスケジュールについて、一部システムのスケジュール変更に伴い「令和8年度まで」から「令和9年度まで」に延長する。

イ 「指標の目標」について、一部システムのスケジュール変更に伴い「令和7年度：15業務、令和8年度：5業務」から「令和7年度：9業務、令和8年度：1業務、令和9年度10業務」に変更する。

〔変更案〕

【事業名：情報システムの標準化】

		財政健全化		
取組名	情報システムの標準化の推進	取組コード	08-05-01	
目的	自治体情報システムの標準化に対応したシステムへの移行により、業務の効率化、経費の削減を図るとともに、制度改正に速やかに対応できる環境を整備する。			
概要	「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」に基づき、原則として令和7年度末までを目標とし、住民記録、税、福祉などの20業務において、標準化・共通化に対応したシステムへ順次移行する。			
活動	標準化に対応したシステムへの移行			
推進担当課	デジタル推進課、関係課			
活動概要	標準化に対応したシステムへ移行し、安定稼働を図る。			
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
各年度の活動	対応・構築 			
	運用・安定稼働 			
到達目標	標準化に対応した業務が安定して運用されている。			
指標	標準化に対応した業務数			
指標の目標	令和7年度：9業務、令和8年度：1業務、令和9年度：10業務		基準値	-




〔変更前〕 「平塚市行財政改革計画(2024-2027)」26ページ

【事業名：情報システムの標準化】		財政健全化	
取組名	情報システムの標準化の推進	取組コード	08-05-01
目的	自治体情報システムの標準化に対応したシステムへの移行により、業務の効率化、経費の削減を図るとともに、制度改正に速やかに対応できる環境を整備する。		
概要	「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」に基づき、原則として令和7年度末までを目標とし、住民記録、税、福祉などの20業務において、標準化・共通化に対応したシステムへ順次移行する。		
活動	標準化に対応したシステムへの移行		
推進担当課	デジタル推進課、関係課		
活動概要	標準化に対応したシステムへ移行し、安定稼働を図る。		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の活動	対応・構築		
		運用・安定稼働	
到達目標	標準化に対応した業務が安定して運用されている。		
指標	標準化に対応した業務数		
指標の目標	令和7年度：15業務	令和8年度：5業務	基準値
			-

(4) 民間活力の活用推進(「民間活力の活用」事業)

ア 「到達目標」の「指標の目標」欄の令和9年度までの導入件数について、「民間活力の活用に係る取組方針(2024-2029)」に掲げている「水産物地方卸売市場整備・運営」のスケジュール変更に伴い、現行の行財政改革計画期間(2024-2027)外となるため「15件」から「14件」に変更する。

[変更案]

【事業名：民間活力の活用】		財政健全化	
取組名	民間活力の活用推進	取組コード	08-07-01
目的	民間活力の活用により、市民サービスの向上や業務の効率化を図る。		
概要	「民間活力の活用に係る取組方針(2024-2029)」に基づき、業務委託やPPP / PFI の活用、民営化に向けて取り組む。		
活動	民間活力の導入		
推進担当課	企画政策課、関係課		
活動概要	「民間活力の活用に係る取組方針(2024-2029)」に基づき、民間活力の導入を推進する。		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の活動	民間活力の導入 		
到達目標	方針に基づき、民間活力が活用され、市民サービスの向上や業務の効率化が図られている。		
指標	取組方針に基づく民間活力の導入達成率		
指標の目標	令和9年度までの導入達成率：100%(全14件)	基準値	-
活動	「民間活力の活用に係る取組方針」の改訂		
推進担当課	企画政策課		
活動概要	上位計画である「次期平塚市行財政改革計画」の策定の時期に合わせ、「民間活力の活用に係る取組方針」を改訂する。		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の活動		検討 	方針改訂 
到達目標	改訂された取組方針により、民間活力を活用する業務や令和10年度からのスケジュール等が示されている。		
指標	取組方針の改訂		
指標の目標	令和9年度中の改訂	基準値	-

民間活力の活用に係る取組方針(平塚市HP)

https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/keikaku/page-c_02409.html

〔変更前〕 「平塚市行財政改革計画（2024 - 2027）」 29 ページ

【事業名：民間活力の活用】		財政健全化	
取組名	民間活力の活用推進	取組コード	08-07-01
目的	民間活力の活用により、市民サービスの向上や業務の効率化を図る。		
概要	「民間活力の活用に係る取組方針（2024 - 2029）」に基づき、業務委託やPPP / PFI の活用、民営化に向けて取り組む。		
活動	民間活力の導入		
推進担当課	企画政策課、関係課		
活動概要	「民間活力の活用に係る取組方針（2024 - 2029）」に基づき、民間活力の導入を推進する。		
	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
各年度の活動	民間活力の導入		
到達目標	方針に基づき、民間活力が活用され、市民サービスの向上や業務の効率化が図られている。		
指標	取組方針に基づく民間活力の導入達成率		
指標の目標	令和 9 年度までの導入達成率：100%（全15件）	基準値	-
活動	「民間活力の活用に係る取組方針」の改訂		
推進担当課	企画政策課		
活動概要	上位計画である「次期平塚市行財政改革計画」の策定の時期に合わせ、「民間活力の活用に係る取組方針」を改訂する。		
	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
各年度の活動			検討 方針改訂
到達目標	改訂された取組方針により、民間活力を活用する業務や令和10年度からのスケジュール等が示されている。		
指標	取組方針の改訂		
指標の目標	令和 9 年度中の改訂	基準値	-

(5) 寄附金の活用推進(「寄附金の活用」事業)

- ア 「目的」欄に「市内事業者の育成を図り、ふるさと寄附金を増やす」を追加する。
- イ 「活動」欄、「ふるさと寄附金の魅力ある返礼品の発掘」を「ふるさと寄附金による歳入の増加」に変更するとともに、「活動概要」と「各年度の活動」の内容を修正する。
- ウ 「到達目標」と「指標の目標」欄について、返礼品を毎年40品以上追加する目標から寄附金額に焦点を合わせた指標とするため、内容を変更する。
- エ 「活動」の「推進担当課」として、産業振興課を追加する。

〔変更案〕

【事業名：寄附金の活用】		財政健全化	
取組名	寄附金の活用推進	取組コード	08-11-01
目的	市内事業者の育成を図り、ふるさと寄附金（ふるさと納税）を増やすほか、寄附を通じて市政参加への関心を高め、歳入の確保を図る。		
概要	ふるさと寄附金（ふるさと納税）の仕組み等を活用し、自主財源の確保を推進する。		
活動	ふるさと寄附金による歳入の増加		
推進担当課	産業振興課、関係課		
活動概要	返礼品を充実させ、寄附金額を増加させる。		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度 令和9年度
各年度の活動	返礼品の発掘		寄附金額の増加
到達目標	寄附金額が増加し自主財源の確保が図られている。		
指標	ふるさと寄附金の寄附金額		
指標の目標	令和8年度に3億円、令和10年度までに5億円	基準値(R6)	103,623千円
活動	クラウドファンディングの実施		
推進担当課	財政課、産業振興課、関係課		
活動概要	クラウドファンディングの実施を推進し、取組の周知を図る。		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度 令和9年度
各年度の活動	クラウドファンディングの実施		
到達目標	クラウドファンディングが実施され、寄附が増加し自主財源の確保が図られている。		
指標	クラウドファンディングの実施件数		
指標の目標	各年度3件以上	基準値(R4)	3件

〔変更前〕 「平塚市行財政改革計画（2024～2027）」36ページ

【事業名：寄附金の活用】		財政健全化	
取組名	寄附金の活用推進	取組コード	08-11-01
目的	寄附を通じて市政参加への関心を高めるとともに、歳入の確保を図る。		
概要	ふるさと寄附金（納税）の仕組み等を活用し、自主財源の確保を推進する。		
活動	ふるさと寄附金の魅力ある返礼品の発掘		
推進担当課	産業振興課、関係課		
活動概要	魅力ある返礼品を発掘し、新たな返礼品を追加する。		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の活動	返礼品の発掘		
到達目標	新たな返礼品の追加により、寄附が増加し自主財源の確保が図られている。		
指標1	新たな返礼品の追加数		
指標1の目標	各年度40品以上	基準値（R4）	69品
指標2	ふるさと寄附金の寄附金額		
指標2の目標	各年度の寄附金額：前年度の寄附金額以上	基準値（R4）	92,720千円
活動	クラウドファンディングの実施		
推進担当課	財政課、関係課		
活動概要	クラウドファンディングの実施を推進し、取組の周知を図る。		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の活動	クラウドファンディングの実施		
到達目標	クラウドファンディングが実施され、寄附が増加し自主財源の確保が図られている。		
指標	クラウドファンディングの実施件数		
指標の目標	各年度3件以上	基準値（R4）	3件

資料1

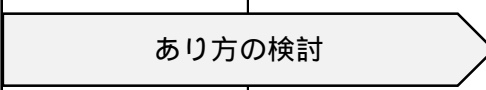
(6) 中央公民館のあり方の検討(「公共施設等の最適化」事業)

- ア 「各年度の活動」欄について、令和6年度に「令和8年10月の休館」を決定し、令和7年度に「ホール機能のあり方」について検討を進めた。今後、その結果を踏まえつつ中央公民館自体の機能のあり方について、休館中の代替施設の利用状況や社会情勢、市民ニーズのほか、場所や手法、財政負担等を整理しながら引き続き検討していく必要があることから、「あり方の検討」の期間を令和9年度末まで延長する。
- イ 「到達目標」欄、施設の機能・規模等について、あらゆる可能性を検討するため字句を整理する。

〔変更案〕

【事業名：公共施設等の最適化】		財政健全化	-
取組名	(2) 中央公民館のあり方の検討	取組コード	08-14-02
目的	中央公民館のあり方(館の機能・規模)を、周辺施設や市民の学習環境の状況、財政負担の程度等を踏まえ、最適化する。		
概要	大地震に対する耐震性に課題があることから、生涯学習における市民ニーズや施設の現状、建替えの財政負担等を整理しながら、今後の中央公民館のあり方を検討する。		
活動	中央公民館のあり方の検討		
推進担当課	中央公民館、資産経営課、企画政策課		
活動概要	庁内検討体制を組織し、検討を行う。		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度 令和9年度
各年度の活動	あり方の検討(ホール機能)		あり方の検討(中央公民館機能)
到達目標	周辺施設や市民の学習環境の状況等を踏まえ、必要な機能や規模等を示す。		
指標	-		
指標の目標	-	基準値	-

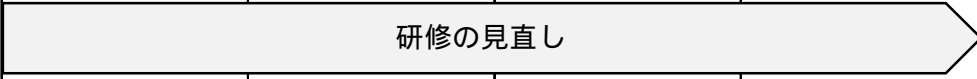
〔変更前〕 「平塚市行財政改革計画（2024～2027）」40ページ

【事業名：公共施設等の最適化】		財政健全化	-
取組名	(2) 中央公民館のあり方の検討	取組コード	08-14-02
目的	中央公民館のあり方（館の機能・規模）を、周辺施設や市民の学習環境の状況、財政負担の程度等を踏まえ、最適化する。		
概要	大地震に対する耐震性に課題があることから、生涯学習における市民ニーズや施設の現状、建替えの財政負担等を整理しながら、今後の中央公民館のあり方を検討する。		
活動	中央公民館のあり方の検討		
推進担当課	中央公民館、資産経営課、企画政策課		
活動概要	庁内検討体制を組織し、検討を行う。		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の活動			
到達目標	周辺施設や市民の学習環境の状況等を踏まえ、今後の中央公民館に必要な機能や規模等を示す。		
指標	-		
指標の目標	-	基準値	-

(7) 人材育成の推進(「人材育成」事業)

ア 「概要」欄の「平塚市職員育成基本方針」について、令和6年10月に改定し、「平塚市人材戦略基本方針」を策定したため変更する。

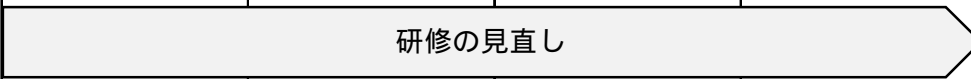
〔変更案〕

【事業名：人材育成】		財政健全化	-
取組名	(1) 人材育成の推進	取組コード	08-18-01
目的	組織にとって重要な「人財」としての職員を育成し、組織力の更なる向上を図る。		
概要	「平塚市人材戦略基本方針」に定める行動理念を理解し取り組む職員の育成に向け、職員研修を充実する。		
活動	研修の見直し		
推進担当課	職員課、関係課		
活動概要	時代の要請や社会の変化を踏まえた研修の追加や研修内容の変更等の見直しを行う。		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の活動			
到達目標	人材育成の取組を充実させることにより、組織力が強化されている。		
指標	-		
指標の目標	-	基準値	-

平塚市人材戦略基本方針(平塚市HP)

https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/jinji/page-c_00938.html

〔変更前〕 「平塚市行財政改革計画（2024～2027）」46ページ

【事業名：人材育成】		財政健全化	-
取組名	(1) 人材育成の推進	取組コード	08-18-01
目的	組織にとって重要な「人財」としての職員を育成し、組織力の更なる向上を図る。		
概要	「平塚市職員育成基本方針」に定める行動理念を理解し取り組む職員の育成に向け、職員研修を充実する。		
活動	研修の見直し		
推進担当課	職員課、関係課		
活動概要	時代の要請や社会の変化を踏まえた研修の追加や研修内容の変更等の見直しを行う。		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度 令和9年度
各年度の活動			
到達目標	人材育成の取組を充実させることにより、組織力が強化されている。		
指標	-		
指標の目標	-	基準値	-

資料1

(8) ワーク・ライフ・バランスの推進(「ワーク・ライフ・バランスの推進」事業)

ア 令和6年度の職員意識アンケート結果を基に設定することとしていた「到達目標」の「指標」と「指標の目標」欄について、「指標」は「時差出勤や育児休業等のワーク・ライフ・バランスに関する制度に対する満足度」、「指標の目標」は「令和9年度の『満足、どちらかといえば満足』の割合を令和6年度実績(67%)以上に改善」として設定する。

〔変更案〕

【事業名：ワーク・ライフ・バランスの推進】		財政健全化	-
取組名	ワーク・ライフ・バランスの推進	取組コード	08-21-01
目的	職員のワーク・ライフ・バランスの推進を図ることで、職員が働きやすい環境を実現する。		
概要	各種制度の利用の促進やそれに向けた環境づくり(意識改革)を推進する。		
活動	各種制度の利用促進に向けた環境づくり(意識改革)		
推進担当課	職員課、関係課		
活動概要	時差出勤や育児休業など各種制度の利用促進に向けた周知を行う。		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の活動	各種制度の周知		
活動	勤務間インターバル制度の検討		
推進担当課	職員課、関係課		
活動概要	勤務間インターバル制度の創設を検討する。		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
各年度の活動	検討	試行・検証	
到達目標	各種制度の創設や利用促進に向けた環境づくり(意識改革)が推進され、職員が各種制度を利用することにより、働きやすい職場が実現されている。		
指標	職員意識アンケート「時差出勤や育児休業等のワーク・ライフ・バランスに関する制度に対する満足度」の割合		
指標の目標	令和9年度の「満足、どちらかといえば満足」の割合を令和6年度実績以上に改善	基準値(R6)	67%

〔変更前〕 「平塚市行財政改革計画（2024～2027）」53ページ

【事業名：ワーク・ライフ・バランスの推進】		財政健全化	-
取組名	ワーク・ライフ・バランスの推進	取組コード	08-21-01
目的	職員のワーク・ライフ・バランスの推進を図ることで、職員が働きやすい環境を実現する。		
概要	各種制度の利用の促進やそれに向けた環境づくり（意識改革）を推進する。		
活動	各種制度の利用促進に向けた環境づくり（意識改革）		
推進担当課	職員課、関係課		
活動概要	時差出勤や育児休業など各種制度の利用促進に向けた周知を行う。		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度 令和9年度
各年度の活動	各種制度の周知		
活動	勤務間インターバル制度 の検討		
推進担当課	職員課、関係課		
活動概要	勤務間インターバル制度の創設を検討する。		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度 令和9年度
各年度の活動	検討	試行・検証	
到達目標	各種制度の創設や利用促進に向けた環境づくり（意識改革）が推進され、職員が各種制度を利用することにより、働きやすい職場が実現されている。		
指標	〔令和6年度の職員意識アンケート結果を基に設定〕		
指標の目標	〔令和6年度の職員意識アンケート結果を基に設定〕	基準値（R6）	-

(9) 災害対策本部組織体制の見直し(「組織力の強化」事業)

ア 「到達目標」について、令和7年4月に「平塚市地域防災計画」を改訂し、組織体制の見直しを図った。引き続き各部班における業務の見直しを行っていくため、その旨を追加する。

〔変更案〕

【事業名：組織力の強化】

		財政健全化	-	
取組名	(4) 災害対策本部組織体制の見直し	取組コード	08-22-04	
目的	激甚化、頻発化する自然災害に効率的、効果的に対応できる組織へ改編する。			
概要	災害対策本部の組織体制の見直しを行う。			
活動	災害対策本部の組織体制の見直し			
推進担当課	災害対策課			
活動概要	より効率的、効果的な班編成や専門職の配置等に向けて組織の改編を行うとともに、各部班での業務等の見直しを実施する。			
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
各年度の活動	組織の改編	業務等の見直し		
到達目標	自然災害に効率的、効果的に対応できる組織 改編及び各部班における業務の見直し が行われ、組織力の強化が図られている。			
指標	-			
指標の目標	-		基準値	-

〔変更前〕 「平塚市行財政改革計画（2024～2027）」57ページ

【事業名：組織力の強化】		財政健全化	-
取組名	(4) 災害対策本部組織体制の見直し	取組コード	08-22-04
目的	激甚化、頻発化する自然災害に効率的、効果的に対応できる組織へ改編する。		
概要	災害対策本部の組織体制の見直しを行う。		
活動	災害対策本部の組織体制の見直し		
推進担当課	災害対策課		
活動概要	より効率的、効果的な班編成や専門職の配置等に向けて組織の改編を行うとともに、各部班での業務等の見直しを実施する。		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度 令和9年度
各年度の活動	組織の改編	業務等の見直し	
到達目標	自然災害に効率的、効果的に対応できる組織への見直しが行われ、組織力の強化が図られている。		
指標	-		
指標の目標	-	基準値	-